

光洋

進路だより

第2号
平成29年12月20日
編集発行
いわき光洋高校
進路指導部

「ソフトボール人生、最高でした！」 進路講演会「夢の実現」努力は裏切らない」

元女子ソフトボール日本代表監督 宇津木 妙子氏



一〇月二六日(木)、いわき明星大学児玉記念講堂において、平成二十九年度進路講演会が開催され、元女子ソフトボール日本代表監督の宇津木妙子氏を講師にお招きし、「夢の実現」努力は裏切らない」と題した講演をいただきました。宇津木先生は、元女子ソフトボール日本代表監督等を経たのち、現在はビックカメラ女

子ソフトボール高崎シニアアドバイザー、東京国際大学女子ソフトボール部総監督を務めるなか、NPPO法人ソフトボール・ドリームを立ち上げるなど、現在も講演活動等を通じて、ソフトボールの世界的普及に尽力していらっしゃいます。

中学校でソフトボールを始め、選手として、指導者として、幾多の輝かしい実績をお持ちの宇津木先生ですが、これまでの競技人生は苦難と挫折の連続だったといえます。小学校一年生の時、授業参観に来た母から「あんたは恥ずかしい」と言わ

な競技にしたいの思いが強く湧き上がってきたといいます。

指導者となって

指導者となってからは、コーチとして参加した一九九六年のアトランタ五輪での四位、監督となって二〇〇〇年のシドニー五輪の銀メダル。二〇〇四年のアテネ五輪の銅メダルと、日本を世界屈指の強豪チームへと育て上げた宇津木先生でしたが、一番になるという目標は叶えることができず、常に悔しい気持ちを抱えていました。全日本監督を退いたのち、二〇〇八年の北京五輪で、かつての教え子たちが悲願の金メダルを獲得するのを解説者として見届けた時、宇津木先生の胸中には、歓喜と同時に自分がその場にいなかったことへの悔しい思いがあったと、言葉を噛み締めながら語る姿が印象的でした。



二〇二〇年に向かって

宇津木先生は、いかなる時でも常に自分と向き合い、自分を知ること、人を活かすことを考えてきたといいます。自分を見失うことなく、自分の考えをしっかりと持ち、目標を叶えるために準備をすることの大切さを熱く語っていらっしゃいました。講演後、光洋生から寄せられた多くの質問に対し、宇津木先生は、一つひとつ激励の思いを込めて丁寧に答えて下さいました。その中で、「今後の目標は？」との質問に対し、宇津木先生は、「二〇二〇年東京五輪の成功。

日本を勝たせるための人づくり」と答えていらっしゃいました。宇津木先生の情熱に溢れた語りに光洋生は魅了され、約七〇分の講演はあっという間に終了しました。今も毎日のトレーニングを欠かさず行う宇津木先生の飽くことなき情熱、ソフトボールを世界中に普及させていきたいというチャレンジ魂。

そして何より、夢中になれるソフトボールと出会えた宇津木先生の生き方には、素晴らしさを感じずにはいられません。ご健康と、今後益々のご活躍をお祈りいたします。

【冬季休業～3学期の主な進路関係行事】

- 12月21日(木)冬期課外(～28日)
- 23日(土)土曜課外(15生)
- 1月 4日(木)ウィンターセミナー(15生)
- 5日(金)・9日(火)ウィンターセミナー(16・17生)
- 10日(水)3学期始業式
- 12日(金)センター試験直前指導
- 13日(土)～14日(日)大学入試センター試験
- 15日(月)自己採点
- 16日(火)15生講座制開始(～31日)
- 20日(土)進研総合学力テスト(16・17生)
- 27日(土)公務員模試・看護模試(16生)
- 2月10日(土)～11日(日)学校開放日
- 13日(火)～16日(金)学年末考査(16・17生)
- 17日(土)センター早期対策模試(16生)
- 25日(日)国公立前期開始
- 3月 1日(木)卒業式
- 12日(月)国公立後期開始

大学模擬授業を実施

大学・短大・専門学校等より講師を招聘

十一月十六日(木)、一六生(二・三次)全生徒を対象とした「大学模擬授業」が本校において実施されました。《各講座の詳細は下表参照》



生徒たちの意見・感想として、「大学での授業は考えられる授業であることがわかり、高校との違いを実感しました」「大学に入ってから進路希望が変わってしまいう学生が多いと知り、自分の就きたい職業を今のうちから決めておかなければならないと思いました」「自分のやりたいこと、学びたいことを勉強できると思うと、とてもワクワクしました」「講義を聴いて、自分

から学びにくいことが大切だと思いましたが、そのためには、確かな目標を持って取り組むべきだと感じました」「ひとつの見方だけではなく、いろいろな視点で物事を見ることが重要と感じました」「法律学は堅苦しく、暗記が必要と思つていましたが、法解釈を通して法律の内容を知ることが重要だとわかりました」「幼い頃から薬剤師になりたいと思つていました、学費の問題などで、あきらめようと思つたこともありましたが、今回の講義を受けたことで、夢



を実現させたいという思いがより大きくなりました」「保育士になろうか迷つていましたが、やはり保育の道は素晴らしいと感じました。子どもたちにとってかけがえのない時間を、楽しかったという記憶でいつばいにできるような保育士になりたいと思つました」「好きなことを見つけて、好きなことを見つけて仕事をしたい方が多い」という先生の言葉を忘れずに頑張ります」「今は考え、悩むことが大事。将来のために。現実から目を逸らさず、しっかりと自分の進路に



ついて考えていきたくて思いました」「今までの学部にしよるか区別がつかなくなつたので、先生の話を聴いて、選ぶ際の考え方が一八〇度変わりました」「Your cookies were very delicious」「スパコンが災害や医療のシミュレーションを行うことで、人々の役に立っていることを知り、とても興味を持ちました」「高校では学ぶことのできない、社会・マスコミ・メディア学に関するいろいろな話が聴けました」「高校より四〇分も長い授業なのに、全然飽きずに話に聴き入つてしまいました」「大学に入ったからこそ、このような授業を受けることができるのだと、しつかりイメージすることができました」



「古典にも、化学的な根拠や議論が必要とされることがあると知り、とてもおもしろいと感じました」「実際にカットやはさみ、コームの使い方などを学ぶことができて、とても勉強になりました」「全員参加型で、ゲーム感覚の楽しい授業でした」「人を楽しませ、笑顔にできる料理やお菓子をつくることは、とても素敵なことだと思えました」「楽しみながらゲーム理論を学ぶことができ、大学の授業の楽しさが伝わりました」「幼稚園教諭、保育士、保育教諭の違いを知ることができたのは、今の自分にとって、とても大きなことでした」等、多くの反響がありました。

高校生のうちから、実際の大学等の講義を体験することは、たいへん貴重な機会です。お忙しい中、いわき光洋高校生のために講義を準備して下さった先生方に、心より感謝申し上げます。

- 講座① 茨城大学 人文社会科学部 法律経済学科 高橋 大輔先生 『家族法入門』
- 講座② 千葉科学大学 危機管理学部 服部 恭介先生 『これからの救急救命士』
- 講座③ 東北福祉大学 総合福祉学部 福祉心理学科 佐藤 俊人先生 『心を理解するということ』
- 講座④ 都留文科大学 文学部 国文学科 佐藤 明浩先生 『和歌文学の昆虫誌』
- 講座⑤ 筑波学院大学 経済情報学部 ビジネスマネジメント学科 ロバート・ジュペ先生 『英語で質問しよう』
- 講座⑥ 会津大学 松本 和也先生 『スーパーコンピュータと高性能計算』
- 講座⑦ 茨城大学 農学部 食生命科学科 森 英紀先生 『「iPS細胞」は何がすごいのか?』
- 講座⑧ 城西大学 現代政策学部 木原 匡先生 『体験型授業から学ぶ経済学』
- 講座⑨ 江戸川大学 メディアコミュニケーション学部 マス・コミュニケーション学科 神田 洋先生 『スポーツから見えるもの』
- 講座⑩ 常磐大学 人間科学部 教育学科 石崎 友規先生 『教育学への誘い「教育」という営みと「教師」という仕事』
- 講座⑪ 国立音楽大学 音楽学 野中 映先生 『パリ島の音楽と芸能』
- 講座⑫ 順天堂大学 スポーツ科学科 中丸 信吾先生 『コーチング科学』
- 講座⑬ 宮城大学 看護学類 佐々木久美子先生 『専門職としての看護とは』
- 講座⑭ いわき明星大学 薬学部 永田 隆之先生 『薬剤師の仕事と役割』
- 講座⑮ 国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント 西堀 眞弘先生 『医療福祉入門講座』
- 講座⑯ いわき短期大学 幼児教育科 鈴木まゆみ先生 『保育の温もり』
- 講座⑰ エコール辻 東京 小川 知宣先生・片山耕一郎先生 『フランス料理』
- 講座⑱ 窪田理容美容専門学校 二表先生 『ウィッグを利用したカット体験』